

会議録

令和2年第3回

仙南地域広域行政事務組合
教育委員会定例会会議録

令和2年9月30日開議

令和2年第3回仙南地域広域行政事務組合教育委員会定例会会議録

1. 召集日時 令和2年9月30日（水） 午前10時
2. 召集場所 仙南芸術文化センター 会議室
3. 出席委員 教育長 船迫邦則、委員 佐藤よし美、委員 阿部 誠
4. 欠席委員 委員 佐山富夫、委員 鈴木仁一

5. 説明のため出席した者

教育次長兼視聴覚教材センター所長 加藤雅章、
 仙南芸術文化センター館長 玉淵博之、
 仙南芸術文化センター主幹兼企画係長 山家史弘、
 仙南芸術文化センター総務係長 渡部勇造、
 教育係長兼文化振興係長 佐々木洋佑、
 主査 山田純士、主事 星井理賢、主事 三ツ澤音々

6. 開 会 午前10時

7. 令和2年第2回仙南地域広域行政事務組合教育委員会定例会会議録の承認について

船迫教育長	会議録について承認を求めます。
(質 疑)	<ありません>との声
船迫教育長	質疑ないものと認め、会議録を承認します。

8. 会議録署名委員の指名

船迫教育長	私のほか、佐藤 よし美 委員にお願いいたします。
佐藤委員	はい。

9. 報 告

報告第1号 令和2年6月から9月までの主な事業等の経過について

視聴覚教材センター事業の経過については佐々木係長、仙南芸術文化センター事業の経過については星井主事より、資料1にてご報告申し上げる（報告後、事業の様子をまとめた映像をご覧いただいた）。

(質 疑)	
佐藤委員	なにかホッとすると言うか、子どもたちが元気に、コロナだけでも工夫してディスタンスをとってやるというような。色んな工夫が生まれてくるんだなと感心して見させていただきました。えず☆スタにおいても、やはりそのような工夫が見られるなど感心しておりました。あと、今回名前が変わったのにはなにか理由があるんですか。
加藤次長	この事業については例年、「あずなびあまつり」という形で開催していたもののタイトルを変えて実施したものになっております。例年やっておりました、あずなびあまつりについては、子どもたちがいらなくなったおもちゃを持ってきて、それをポイントに換えて、色々なイベントに参加することでポイントをゲットして、他の子が持ってきたおもちゃの中から、自分が欲しいものを持ち帰るということを事業の中心に据えて、それを惹きつける魅力として様々なプログラムを体験していただくという内容で実施していたものです。その関係もあって、例年2,000名を超える参加者がいらっしゃる事業でした。さすがにこのコロナの状況で

	<p>例年と同じ「あずなびあまつり」という名前で実施してしまうと、おもちゃを手に入れることができるイベントと同じものとして来られてしまう。あずなびあまつりという名前を使うことはコロナ感染拡大防止の観点から危険だということで、別の名前を付ける必要があるということ、当然イベント自体も可能な限りの感染対策をして、なおかつ内容的にはできるだけ多くの人に体験してもらいたい、せっかく企画した事業なので、できるだけ多くの人に参加してもらいたいという担当者の思いがある中で、これ以上増やすと危険なので、人数は大体 150 人前後で想定していたんですけども、それ以上増やさないような形で受付を締め切るしかないというせめぎ合いがある中で、人数も制限して実施したという形になっております。その結果として、完全な安全ということは言い切れないんですが、可能な限りの対策をとって実施することで、安心が確保できる環境で実施をしたという内容でございました。</p>
佐藤委員	<p>コロナ禍とか、できない間はこのような形で、来年はどうなるか分からないですが、また元に戻る、あずなびあつという名前に戻ることもあるんですかね。</p>
加藤次長	<p>こればかりはコロナの状況を見てということになると思いますが、我々としても従来のあずなびあまつりの形が本来なのかなという思いがありますので、今後の状況を見ながら判断していきたいと考えております。</p>
佐藤委員	<p>これはこれで工夫してあったり、お名前も、ディスタンスの「スタンス」からとったんですね。</p>
加藤次長	<p>まさにそれです。正式な名称が、「ディス イズ えずこスタンス」ということで、「ソーシャルディスタンス」とよく言われているんですけども、本来的には身体的距離をとって、というのが主旨だったんですけども、その距離をとることで結構な勢いで社会的なつながりも切られてしまっているという状況で。人と人のつながりを作ろうとしている、あずなびあもそうですし、ましてや、えずこは開館以来ずっとそれを目的としてやってきている。その中で、ソーシャルディスタンスということでも人のつながりを切られているという状況をなんとか逆手にとってやりたいという思いがありまして、「ディスタンス」の間に「イズ えずこ」を入れて、コロナがある中でも人をつなげることを続けていきたいというものを込めたタイトルということで、これも職員が考えました。</p>
佐藤委員	<p>ありがとうございました。</p>
船迫教育長	<p>それでは、阿部委員。</p>
阿部委員	<p>まずですね、本町で行いました、iPad を使った出前講座。参加者少ないんですけども、遠くまで来ていただいて、色々していただいて本当にありがとうございました。感謝を申し上げます。2 つ目なんですけど、先ほどの映像を見て感じたんですけども、コロナ対策で非接触式体温計をされてましたが、モニターに映るやつはあるんですかね。</p>
加藤次長	<p>一応現時点では、手に持って使う体温計でやっているんですけども、コロナ対策ということで文化庁からもそういった機器の整備に助成金が出るということで、そういったタイプのものを手配している最中ですので、早晚ご用意して提供できる形にはなるかなと思っております。</p>
阿部委員	<p>本町は学校が 2 つしかないの、学校の補助ということで、少し前に入ったんです。えずこはこれから人がいっぱい来ますのでね、ああいうのでどんどん感知し</p>

	ていけばスムーズに行くのかなと思いました。
	<質疑なし>

10. 議 事

議案第1号 仙南地域広域行政事務組合教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況についての点検及び評価の実施について

視聴覚教材センターの事業及びAZ9事業については山田主査、仙南芸術文化センターの事業については玉渕館長より、別紙（資料2）にてご説明申し上げます。

(質 疑)	
阿 部 委 員	有識者の意見・評価ということで、教員側、学校側がなかなかうまく活用できないような状態ということなんですけども、その中で小教研とか中教研を利用してというのがありました。今年是小教研・中教研含めて総会はしなかったと思うんですが、総会にセンターの方から来ていただいて、こういう機材を使ってこういうことができますよというアピールをしてもらおうとやはり違うのかなと思います。意識付けも変わってくるのではと思います。
船迫教育長	その際に、先ほど見せてもらったようなものを作って、説明する側の負担も軽減できると良いなと思って私も聞いておりました。よろしくご検討お願いしたいと思います。佐藤委員。
佐 藤 委 員	はい。私も色々読ませていただいて、なるほどなと思うものがたくさんありました。例えば、視聴覚教育指導員との連携というのがここ最近良いのかなと。白石の方ともお話しさせていただいたことがありまして、CMを実際に作ってみたと。ああいう経験が自分の自覚というか芽生えてきたのかなという感じがしまして、すごくあずなびあとの関わりが良くなってきたというか。そういった活動にも自ら進んで参加しているということで、良い関わりだなと思って聞かせていただきました。あとは現場訪問を実施したことによって、そちらの方からの依頼が多くなったというの、凄くこちらの活動の評価というか、成果が出ているのかなと思って聞かせていただきました。今後はやはりコロナ禍ということで、先ほどありましたスマートフォンを利用するとか、iPadを利用するとか、Zoomなんていうのも聞いてはいますけども、実際に操作するとなるとなかなか躊躇するところがありますので、親しみを持って参加できる入口があると凄く広がるのかなと。コロナ禍でなくても活用できることだと思うので、これをきっかけに広まるっていうのは、逆手にとって、マイナスをプラスにしていく手段にもなるのかなと思いますので、よろしくお願ひしたいと思います。
船迫教育長	子どもたちも1人1台コンピュータの時代にいよいよ来年度からね。恐らく2市7町も12月くらいで端末は揃うんじゃないかということで。柴田町では、子どもたちのそういう大きな変革ということで、保護者の研究部会とか、あるいは、町の方で企画してPTAの方に専門家を派遣して、こういう機材に触れてこういうことができるんですよ、ということをやるといふ動きになっているんですね。そういったところにも予算が必要になってくるんですけども、教材センターさんからもその辺の支援をどうにかできないかなという視点を持っていただいて、保護者もどういふ機器なのか触れたがっている、知りたがっているかと思っています。いよいよ教材センターの出番がここにもやってくるのではという予感がしていま

	<p>す。よろしくお願ひしたいと思ひます。 次にえずこの事業について、阿部委員お願ひします。</p>
阿部委員	<p>学校では今年度コロナで行事、まあ町の行事もそうなんですけども、だいぶ縮小されて、感染対策してやっている状況で、まあ修学旅行なんですけども今日七ヶ宿で行ったんです。5月に東京に行くはずが、岩手県になんとか行けることになったんですが、学校教育の中で音楽事業が、声を出さないようにとか、町の音楽祭も中止にしました。準備が夏休み前からやっていかないといけないので。それから、NHK学校音楽コンクールとか、吹奏楽コンクールとかも今年は中止になってしまいました。そんな中で合唱とか感染対策をしながらやっていただいているのは非常に良いことだなと感じます。やはり感性というかスポーツもそうなんですけど、音楽にかかる重要性というか。学校でもうまくやりくりして授業をやっているんですけど、感染対策をしながら実際にやっていっているというのは本当に素晴らしいなと感じました。それから一つ教えていただきたいのが、職場体験で地元の学校が多くある中で、静岡文化芸術大学っていうのは、連携か何かをしてらっしゃるんですかね。</p>
玉渕館長	<p>もともと、えずこは公共ホールの中でも特徴のあるホールだということで、まあ前館長が全国色々回って講話をしてきたというのもありますけど、結構評価をされてるんです。そういった話を聞いて、えずこを見学したい、勉強したいという方が結構いらっしゃいます。たまたまそういった全体的な流れの中ですら、えずこホールを卒業論文みたいなもので研究対象にしたいということで、来ていただいて色々事業とかアウトリーチとかと一緒に参加して、体験してもらったり、職員と同じように動いてもらう。我々としては手伝ってもらっているという面もありますし、そういう方々には地域でこういうことが起こっているというのを肌で感じてもらうということも考えております。</p>
阿部委員	<p>他県の方が遠くから来てくれて、体験をしてくれるというのは非常に良い事だなと感じました。</p>
玉渕館長	<p>バイトして、自分でホテルを取って、歩いてここまで来るといった形でした。</p>
船迫教育長	<p>ちなみに今年の職場体験は無しですか。</p>
玉渕館長	<p>先日申し込みがあったんですけども、今回は流れてしまいました。また改めてあるという話は聞いています。</p>
星井主事	<p>10月末に槻木中学校があります。</p>
船迫教育長	<p>わかりました。佐藤委員。</p>
佐藤委員	<p>いつものことながら、素晴らしいことをたくさんなさっているなということで、財源ですか、お金の問題とか人材の問題があつて難しいとは思いますが、前のところでもお話しありましたが AZ9 の公演で本当に子どもたちの素晴らしい姿が見られるので、30回公演を目処に見直しということになっているようですが、何とかこれからも続けていけるといいなと思っております。</p>
船迫教育長	<p>はい。その他の資料に出していただいた、えずこサンタプロジェクトの対象市町は3町ですか。</p>
玉渕館長	<p>現状では3町を中心にやっております。以前から2市7町という話は出ているんですけど、なにぶん事務上の負荷が相当かかるということで、どこから始めるかとなった時に、まずは3町からとなつて、現在もそこにとどまっているという形</p>

	で。今後はそれも課題です。
船迫教育長	将来的には、広げるということも場合によっては出てきますか。
玉淵館長	はい。
船迫教育長	ありがとうございます。
	<質疑なし>

11. その他

(1) 令和2年度仙南地域広域行政事務組合教育費一般会計補正予算(第1号)について
三ツ澤主事より、別紙(資料3)にてご説明申し上げます。

(質 疑)	<質疑なし>
---------	--------

(2) 令和2年度仙南地域広域行政事務組合仙南芸術文化センター特別会計補正予算(第1号)について

渡部係長より、別紙(資料4)にてご説明申し上げます。

(質 疑)	<質疑なし>
---------	--------

13. 閉 会 午前11時50分

上記の会議の顛末を記録し、その内容が真正であることを証するためにここに署名する。

令和2年9月30日

教 育 長

署名委員